ジエトフェンカルブ・ベノミル水和剤

プライア水和剤

成分: ジエトフェンカルブ [N-フェニルカーバメート系] …25.0% ベノミル [ベンズイミダゾール系 PRTR・1種] …25.0% その他 PRTR 該当成分:

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩[PRTR・1種]…1.2%以下

取扱メーカー:

北興*,住友化学

原体メーカー: 住友化学、住友化学

性状:類白色水和性粉末45μm以下

毒性:普通物 消防法:——

【品目特性】

- ●ベンズイミダゾール耐性菌に負の交差耐性を示すジエトフェンカルブを含有しているため、耐性菌発生地域でも安心して使用できる(耐性菌にも安心して使える)。
- ●高い耐雨性を持つため、散布後の降雨による影響が少ない(耐雨性に優れる)。
- ●灰色かび病、菌核病に加え、炭疽病にも効果を 示す(幅広い病害に活性を示す)。
- 有効成分の特性は、参考資料の「有効成分特性 一覧表」を参照。

【使用上のポイント】…………

●薬剤耐性菌の出現を防ぐため本剤の過度の連用 はさけ、作用性の異なる薬剤と組み合わせて輪番 で使用する。

【薬効・薬害等の注意】…………

- ●エトフェンプロックス乳剤又はダイアジノン乳剤と混用した場合、凝固物を生成するため混用をさける。
- ●石灰硫黄合剤,ボルドー液との混用はさける。
- ●共通注意事項 8. 適用作物群に関する注意事項 を参照。

- ●眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗する。
- ●散布の際は農薬用マスク,手袋,長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
- ●カブレやすい体質の人は取扱いに十分注意する。



作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	ジエトフェンカルブを 含む農薬の総使用回数	ベノミルを含む 農薬の総使用回数
小麦	赤かび病 葉枯症	1000~ 1500倍	60∼ 150ℓ	21日 前まで	2回 以内	散布	2回以内	4回以内 (種子への処理 は1回以内, は 種後は3回以 内)
豆 類 (種実,但し, だいず, らっかせい を除く)	灰色かび病 菌核病 炭疽病	1000倍	100 ~ 300 ℓ	14日 前まで	4回以内		4回以内	5回以内 (種子粉衣は1 回以内,は種後 は4回以内)
だいず	灰色かび病 菌核病 紫斑病 炭疽病						4回以内 (種子粉衣は 1回以内)	
豆 類 (未成熟,但し, えだまめ, さやいんげん, さやえんどう を除く)	灰色かび病 菌核病 炭疽病			30日 前まで	3回 以内		3回以内	6回以内 (種子粉衣は1 回以内,灌注は 2回以内,散布 は3回以内)
えだまめ	灰色かび病 菌核病 紫斑病 炭疽病							
さやいんげん	灰色かび病 菌核病 炭疽病			収穫開 始14 日前ま で 前日				
さやえんどう				まで				
たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病			7日前 まで	5回以内		5回以内	8回以内 (種子粉衣は1 回以内,育苗培 土混和,灌注 又は苗根部浸 漬は合計1回以 内,散布は6回 以内)
茶	輪斑病 炭疽病 新梢枯死症 褐色円星病		200 ∼ 400 ℓ	摘採 14日 前まで	1回		1回	1回